

運用報告書（全体版）

追加型投信／内外／資産複合

トレンド・アロケーション・オープン

作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日

第3期（決算日 2015年1月26日）

<受益者のみなさまへ>

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「トレンド・アロケーション・オープン」は、2015年1月26日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2012年3月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY） 受益証券、マネー・プール マザーファンド 受益証券
	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）	先進国の国債、世界各国のETF等
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産へ、実質的に投資します。 ・安定的な資産成長のために、市場環境に応じて機動的な資産配分を行います。 ・為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。	
主な投資制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益配分方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

■ ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、トレンド・アロケーション・オープンは2015年1月26日に第3期の決算を迎えました。日ごろより私どもの運用に信頼をお寄せいただいております皆さま方に心より感謝申し上げます。

当期（過去1年間）は、先進国を中心に高リスク資産への配分比率を高位で維持する戦略が奏功し、当ファンドの基準価額は7.8%の上昇となりました。この結果、設定来の運用成績は18.5%となっています。中長期投資を実践していただくファンドとして、こうした良好な運用成果を皆さまに報告できたことは、我々にとって大きな喜びです。

当期におきましては、作成対象期間中、ロシアとクリミアを巡る地政学リスクの上昇や、中国経済の減速懸念、国際通貨基金（IMF）の世界経済成長予測の下方修正などにより、一時的に投資家のリスク回避姿勢が強まる局面もみられました。しかし、米国で好調な企業業績の発表が相次いだことや主要中央銀行の金融政策が投資家心理を改善するなど、当ファンドが投資対象とする多くの資産クラスがおおむね堅調となりました。なかでも、先進国株式などの高リスク資産は相対的に高いリターンをもたらし、当ファンドのパフォーマンスの上昇要因となりました。

当ファンドは、資産価格のトレンド分析を中心に資産配分の変更を実践します。当期におきましては、「基本的に高リスク資産優位は変わらず」との判断のもと資産配分を調整してまいりました。しかしながら、2014年9月半ばから10月にかけて金融市場が不安定化した局面では、高リスク資産への配分比率を引き下げ、その後、11月にはその配分比率を再び引き上げて、株式市場など高リスク資産の反発局面を捉えるなど、市場環境に対応しながら丁寧な運用を行ってまいりました。

今後も運用品質の維持・向上に励み、金融市場の変動に適切に対応し、長期投資のコアとなるよう安定した運用成果の実現を目指してまいります。引き続き、トレンド・アロケーション・オープンを資産形成の基盤としてご活用いただけますよう、心よりお願い申し上げます。



アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハー
マルチ・アセット/アクティブ・アロケーション・ストラテジー、
ポートフォリオ・マネージャー：Dr. ミハエル・スタモス

上記は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハーの資料を基に、国際投信投資顧問が作成したものです。

Dr. Michael Stamos

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金		期 騰 落 率	債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 率 比	純 資 産 額
		税 分	金					
(設 定 日) 2012年 3月30日	円 10,000	円	—	% —	% —	% —	% —	百万円 999
1 期 (2013年 1月25日)	10,351	0	0	3.5	0.1	—	97.9	1,251
2 期 (2014年 1月27日)	10,986	0	0	6.1	0.0	—	97.3	6,705
3 期 (2015年 1月26日)	11,848	0	0	7.8	0.0	—	99.0	31,788

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当期の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 率 比
1 月末	10,953	△0.3	0.0	—	98.0
2 月末	11,178	1.7	0.0	—	97.9
3 月末	11,187	1.8	0.0	—	98.9
4 月末	11,270	2.6	0.0	—	98.3
5 月末	11,500	4.7	0.0	—	99.0
6 月末	11,589	5.5	0.0	—	99.0
7 月末	11,621	5.8	0.0	—	99.0
8 月末	11,690	6.4	0.0	—	99.0
9 月末	11,478	4.5	0.0	—	99.0
10 月末	11,404	3.8	0.0	—	99.0
11 月末	11,684	6.4	0.0	—	98.6
12 月末	11,715	6.6	0.0	—	99.0
(期 末) 2015年 1月26日	11,848	7.8	0.0	—	99.0

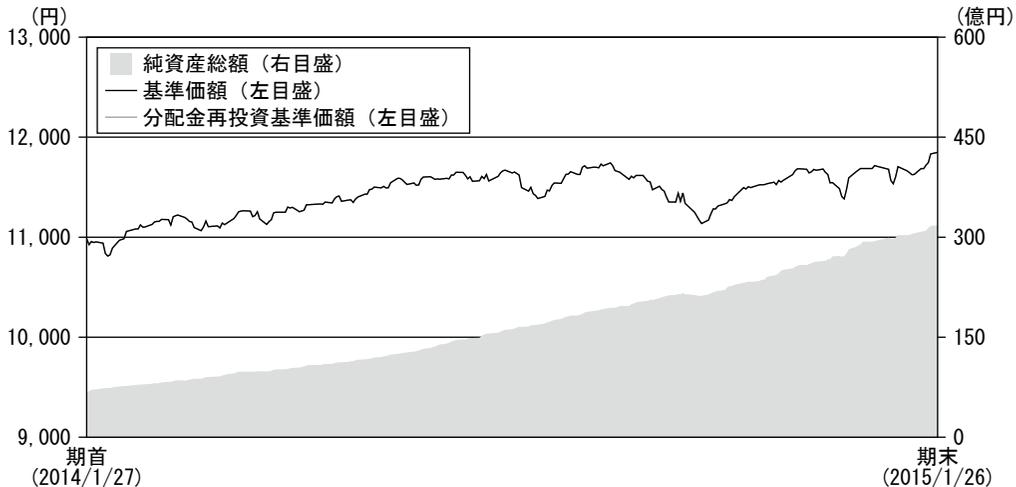
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について (作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日)



当ファンドの作成対象期間中の騰落率は
プラス7.8%となりました。

期首 : 10,986円
 期末 : 11,848円 (既払分配金0円(税込み))
 騰落率 : +7.8% (分配金再投資ベース)

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日)

先進国株式、先進国債券、リートが上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

> 主なプラス要因

- 先進国株式が大幅に上昇したこと
- 先進国国債が底堅く推移したこと
- リートが底堅く推移したこと

> マイナス要因

- コモディティなどの価格が下落したこと
- 対円での為替ヘッジコスト

ベンチマークとの差異について（作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

投資環境について（作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日）**● 国債・株式市場の動向****国債市場**

作成対象期間の初めから2014年8月にかけては、欧米におけるインフレ率が低位で推移したことや欧州中央銀行（ECB）の金融緩和策の長期化見通しなどから、先進国国債の利回りは低下（債券価格は上昇）しました。

9月には、米国の堅調な経済指標を背景に一時的に先進国国債の利回りは総じて上昇（価格は下落）したものの、世界的に株式市場が軟調になると利回りは再び低下しました。

10月から作成対象期間末にかけては、日銀やECBの金融緩和姿勢に加え、原油価格が大幅に下落するなどインフレ観測が後退したことから、先進国国債の利回りは低下（債券価格は上昇）しました。産油国などの一部の新興国国債は弱含みしました。

株式市場

作成対象期間の初めから2014年8月にかけては、米国の主要な経済指標が好調だったことや日・米・欧の中央銀行の金融緩和策などを受けて、世界の株式市場は上昇しました。

9月から10月にかけては、米国経済指標の改善などより米連邦準備理事会（FRB）による早期の利上げ観測が高まったことや原油価格の急落を受けてエネルギー関連株の業績や産油国経済に対する懸念などから、世界の株式市場は下落しました。

11月から作成対象期間末にかけては、10月末の日銀による追加の金融緩和策の決定やECBによる追加の金融緩和策を示唆する発言、中国の利下げ、米国の堅調な経済指標などを背景に先進国株式は反発した後、持ち合いとなりました。一方、トルコや産油国のブラジル、ロシアなどが大幅に下落しました。

● 国内短期金融市場の動向**無担保コール翌日物金利の推移**

日銀による金融緩和策の強化を受けて、無担保コール翌日物金利はおおむね0.1%を下回る水準で推移しました。

国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移

2014年8月まで低位で推移していた国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、9月以降、日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締まりなどから、マイナスに転じました。10月末の日銀による追加の金融緩和策を受けて、日銀の短期国債の買入れが減少するとの見通しなどから、11月初旬にかけて0%程度まで上昇しました。その後、一時的に0%程度まで上昇することはあったものの、おおむねマイナスで推移しました。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日）

➤ **トレンド・アロケーション・オープン**

円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）の受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行いました。

➤ **ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）**

（当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、国際投信投資顧問が作成したものです。）

- 作成対象期間末の資産クラス別構成比は高リスク資産60.7%、低リスク資産39.3%としました。
- トレンドを強気にみていた先進国株式の組入比率を高めに保ちました。

主として先進国の国債、世界各国のETF等に投資を行うとともに、対円で為替ヘッジを行いました。

ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築しました。

作成対象期間の初めから2014年3月末にかけては、低リスク資産の比率を引き下げ、先進国株式を高めに維持しながらコモディティやリートなどの高リスク資産の比率を高めました。

4月から6月にかけては、トレンドが強くなった新興国国債や新興国株式などの比率を引き上げる一方、コモディティの比率を引き下げました。

7月から9月にかけては、高リスク資産の比率をさらに引き上げました。

10月には先進国株式や新興国株式などの比率を引き下げ、低リスク資産の比率を引き上げました。

11月から作成対象期間末にかけては、先進国株式の比率を引き上げる一方、コモディティや新興国国債などの比率を引き下げました。

➤ **マネー・プール マザーファンド**

わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

■ 分配金について

分配については、基準価額水準、市況動向等を勘案して、当期の分配は見送らせていただきました。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

■ 今後の運用方針

➤トレンド・アロケーション・オープン

引き続き、円建の外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）の受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券へも投資を行います。

➤ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）

（当記載は、アリアンツ・グローバル・インベスターズの資料を基に、国際投信投資顧問が作成したものです。）

引き続き、主として先進国の国債、世界各国のETF等に投資を行うとともに、原則として対円で為替ヘッジを行います。

ポートフォリオは、①基本資産配分を行う「トレンド・アロケーション」、②基本資産配分に対する微調整を行う「タクティカル・アセット・アロケーション」、③下落リスクへの対応を行う「ダウンサイド・リスク・マネジメント」を活用して構築します。

➤マネー・プール マザーファンド

引き続き、わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンでの運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 (2014/1/28~2015/1/26)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 78	% 0.679	(a) 信託報酬 = 作成対象期間の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は11,439 円です。
(投 信 会 社)	(37)	(0.323)	・ 当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.323)	・ 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.032)	・ 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.011	(b) その他費用 = $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	・ 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	79	0.690	

(注1) 作成対象期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■ 当期の売買及び取引の状況 (2014年1月28日から2015年1月26日まで)

投資信託証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	21,713,824	24,763,399	192,467	215,513
合 計	21,713,824	24,763,399	192,467	215,513

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当期の利害関係人^{*}との取引状況等 (2014年1月28日から2015年1月26日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

① トrend・アロケーション・オープン

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 24,763	百万円 —	% —	百万円 215	百万円 —	% —

② マネー・プール マザーファンド

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
現先取引 (公社債)	百万円 493,604	百万円 —	% —	百万円 493,904	百万円 —	% —

平均保有割合0.0%

(平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。)

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	一千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	一千円
(B) / (A)	-%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人との取引はありません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2014年1月28日から2015年1月26日まで)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取 引 の 理 由
百万円 769	百万円 -	百万円 769	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

■ 組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期		末
	口 数	評 価 額	組 入 比 率
ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド (JPY)	千口 27,389,662	千円 31,470,721	% 99.0
合 計	27,389,662	31,470,721	99.0

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	額
マネー・プール マザーファンド	千口 997	千口 997	千円 1,002	千円 1,002

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

2015年1月26日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	率
投資信託受益証券	千円 31,470,721		% 97.5
マネー・プール マザーファンド	1,002		0.0
コール・ローン等、その他	806,423		2.5
投資信託財産総額	32,278,146		100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年1月26日) 現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	32,278,146,409
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	806,421,461
投資信託受益証券(評価額)	31,470,721,789
マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,002,095
未 収 利 息	1,064
(B) 負 債	489,564,575
未 払 金	261,285,050
未 払 解 約 金	147,428,596
未 払 信 託 報 酬	79,587,694
そ の 他 未 払 費 用	1,263,235
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	31,788,581,834
元 本	26,831,412,865
次 期 繰 越 損 益 金	4,957,168,969
(D) 受 益 権 総 口 数	26,831,412,865口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,848円

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当ファンドの期首元本額は6,103,742,319円、期中追加設定元本額は24,641,827,280円、期中一部解約元本額は3,914,156,734円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1.1848円です。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期 末
(a) 配当等収益(費用控除後)	855,239,903円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	336,172,651
(c) 信託約款に規定する収益調整金	3,666,518,717
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	99,237,698
(e) 分配対象収益(a + b + c + d)	4,957,168,969
(f) 分配金額	—
(g) 分配金額(1万口当たり)	—

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

■ 損益の状況

当期(自2014年1月28日 至2015年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	939,240,113
受 取 配 当 金	939,020,310
受 取 利 息	219,803
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	369,197,515
売 買 損 益	540,395,453
売 買 損	△ 171,197,938
(C) 信 託 報 酬 等	△ 117,025,074
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	1,191,412,554
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	99,237,698
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,666,518,717
(配 当 等 相 当 額)	(1,734,130,740)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,932,387,977)
(G) 計 (D + E + F)	4,957,168,969
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	4,957,168,969
追 加 信 託 差 損 益 金	3,666,518,717
(配 当 等 相 当 額)	(1,734,130,747)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,932,387,970)
分 配 準 備 積 立 金	1,290,650,252

■ 分配金のお知らせ

当期分配金はありません。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

	第3期 2014年1月28日～ 2015年1月26日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,847円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補てん後の有価証券売買等損益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■ お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

■ 約款変更について (作成対象期間：2014年1月28日～2015年1月26日)

トレンド・アロケーション・オープン

- 信託期間を無期限に変更するための、所要の約款変更を2014年10月23日に行いました。
- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

〈参考〉投資対象とする投資信託証券の概要

ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）

当ファンドは、トレンド・アロケーション・オープンが投資対象とする外国投資信託証券です。

名 称	ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（JPY）
運 用 方 針	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハーの「ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略」による運用を行います。 ・ダイナミック・マルチアセット・プラス戦略は、アクティブなアセット・アロケーションと ダウンスайд・リスク低減のためのリスク・マネジメントを組合せることにより、リスク調整後の良好なリターンを獲得を目指します。
投 資 顧 問 会 社	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパ・ゲーエムベーハー
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2012年3月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

ダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンド（ＪＰＹ）

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、国際投信投資顧問が編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2014年3月31日に終了する期間)

(円で表示)

投資収益		
受取利息（外国税額控除後）	¥	12,863,829
受取配当金（外国税額控除後）		26,406,316
投資収益合計		<u>39,270,145</u>
費用		
運用受託報酬		16,101,644
管理報酬		6,853,588
専門家報酬		5,902,042
会計処理および管理手数料		4,165,539
受託者報酬		730,863
名義書換事務代行手数料		580,848
登録手数料		71,592
その他の費用		38,420
費用合計		<u>34,444,536</u>
投資純利益		<u>4,825,609</u>
実現および未実現損益：		
実現損益：		
投資有価証券		37,677,116
先物取引		167,743,193
外国通貨取引および為替予約取引		(92,851,968)
実現純損益		<u>112,568,341</u>
未実現評価損益の純変動：		
投資有価証券		229,063,565
先物取引		30,218,692
外国通貨取引および為替予約取引		(71,237,500)
未実現評価損益の純変動		<u>188,044,757</u>
実現および未実現損益（純額）		<u>300,613,098</u>
営業活動による純資産の増減（純額）	¥	<u>305,438,707</u>

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 投資明細表

(2014年3月31日現在)

元本金額	銘柄名	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (25.2%)	
	FRANCE (2.7%)	
	GOVERNMENT BOND (2.7%)	
EUR 1,590,000	France Government Bond OAT 3.50% due 04/25/20	¥ 256,950,688
	TOTAL GOVERNMENT BOND	256,950,688
	TOTAL FRANCE (Cost ¥243,147,995)	256,950,688
	GERMANY (1.1%)	
	GOVERNMENT BOND (1.1%)	
EUR 670,000	Bundesrepublik Deutschland 3.50% due 07/04/19	109,334,031
	TOTAL GOVERNMENT BOND	109,334,031
	TOTAL GERMANY (Cost ¥100,161,276)	109,334,031
	ITALY (1.7%)	
	GOVERNMENT BOND (1.7%)	
EUR 1,050,000	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 4.25% due 09/01/19	166,173,985
	TOTAL GOVERNMENT BOND	166,173,985
	TOTAL ITALY (Cost ¥148,884,251)	166,173,985
	JAPAN (4.3%)	
	GOVERNMENT BOND (4.3%)	
¥ 391,700,000	Japan Government Ten Year Bond 1.00% due 09/20/21	408,436,949
	TOTAL GOVERNMENT BOND	408,436,949
	TOTAL JAPAN (Cost ¥402,888,501)	408,436,949
	SPAIN (1.4%)	
	GOVERNMENT BOND (1.4%)	
EUR 820,000	Spain Government Bond 4.60% due 07/30/19	132,434,529
	TOTAL GOVERNMENT BOND	132,434,529
	TOTAL SPAIN (Cost ¥121,176,914)	132,434,529
	UNITED KINGDOM (2.7%)	
	GOVERNMENT BOND (2.7%)	
GBP 1,240,000	United Kingdom Gilt 5.00% due 03/07/25	256,201,044
	TOTAL GOVERNMENT BOND	256,201,044
	TOTAL UNITED KINGDOM (Cost ¥239,058,239)	256,201,044
	UNITED STATES (11.3%)	
	GOVERNMENT BONDS (11.3%)	
USD 7,030,000	U.S. Treasury Bond 8.88% due 02/15/19 (a)	972,589,633
USD 1,006,089	United States Treasury Inflation Indexed Bonds 1.25% due 07/15/20 (a)	111,907,589
	TOTAL GOVERNMENT BONDS	1,084,497,222
	TOTAL UNITED STATES (Cost ¥1,048,980,215)	1,084,497,222
	TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥2,304,297,391)	2,414,028,448
	口数	
	EXCHANGE-TRADED FUND (37.3%)	
	FRANCE (10.3%)	
20,000	LYXOR ETF Commodities CRB	58,399,132
220,000	LYXOR ETF Commodities Thomson Reuters/Jefferies CRB TR	642,859,697
218,553	LYXOR ETF FTSE 100	290,254,533
		991,513,362
	TOTAL FRANCE	991,513,362

口数	銘柄名	純資産比率	公正価値
	EXCHANGE-TRADED FUND (37.3%) (continued)		
	JAPAN (4.6%)		
355,000	Nomura TOPIX Exchange Traded Fund		¥ 439,135,000
	TOTAL JAPAN		<u>439,135,000</u>
	UNITED STATES (22.4%)		
62,850	SPDR S&P 500 ETF Trust		1,213,340,191
60,000	Vanguard FTSE Emerging Markets ETF		251,307,877
94,000	Vanguard REIT ETF		685,170,056
	TOTAL UNITED STATES		<u>2,149,818,124</u>
	EXCHANGE-TRADED FUND (Cost ¥3,356,226,824)		<u>¥ 3,580,466,486</u>
	MUTUAL FUND (10.8%)		
	GERMANY (4.1%)		
86,300	iShares Euro STOXX50 DE		389,001,925
	TOTAL GERMANY		<u>389,001,925</u>
	UNITED STATES (6.7%)		
46,000	iShares iBoxx Investment Grade Corporation Bond Fund		555,360,682
7,900	iShares JPMorgan USD Emerging Markets Bond Fund		90,851,699
	TOTAL UNITED STATES		<u>646,212,381</u>
	MUTUAL FUND (Cost ¥971,463,160)		<u>¥ 1,035,214,306</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥6,631,987,375)	73.3	¥ 7,029,709,240
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	26.7	<u>2,561,093,789</u>
	NET ASSETS	100.0%	<u>¥ 9,590,803,029</u>

(a) All or a portion of security pledged as collateral for open futures contracts.

先物取引残高

Cash of ¥10,683,264 is held with the broker for the following open futures contracts on March 31, 2014.

ポジション	銘柄	限月	契約	未実現 評価損益
Short	10 Year Mini JGB June Futures	06/2014	(4)	¥ 48,000
Long	Euro Stroxx 50 June Futures	06/2014	123	16,160,364
Long	Euro-BTP June Futures	06/2014	5	1,514,368
Long	Euro-Bund June Futures	06/2014	7	925,684
Long	FTSE 100 Index June Futures	06/2014	6	(36,136)
Short	Long Gilt June Futures	06/2014	(8)	(426,746)
	Mini MSCI Emerging Markets Index June Futures	06/2014	(14)	(2,947,820)
Long	S&P 500 E-Min June Futures	06/2014	122	8,255,652
Long	S&P/TSX 60 Index June Futures	06/2014	33	3,728,064
Long	SPI 200 June Futures	06/2014	13	746,628
Short	TOPIX Index June Futures	06/2014	(5)	(605,000)
Short	US Treasury 10 Year Note (CBT) June Futures	06/2014	(24)	1,199,874
				<u>¥ 28,562,932</u>

ファンドレベルでの為替予約取引残高

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	907,953,704	06/20/2014	EUR	6,440,000	¥	- ¥ (7,339,077) ¥	(7,339,077)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	37,866,984	06/20/2014	USD	370,000	-	(304,893)	(304,893)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	21,056,685	06/20/2014	EUR	150,000	-	(262,246)	(262,246)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	108,276,592	06/20/2014	EUR	760,000	260,674	-	260,674
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	4,276,680	06/20/2014	EUR	30,000	12,894	-	12,894
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	92,097,864	06/20/2014	GBP	540,000	-	(717,536)	(717,536)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	458,822,809	06/20/2014	GBP	2,690,000	-	(3,535,390)	(3,535,390)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	1,104,078,600	06/20/2014	USD	10,800,000	-	(10,127,528)	(10,127,528)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	3,415,125,225	06/20/2014	USD	33,430,000	-	(33,755,411)	(33,755,411)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	10,300,500	06/20/2014	USD	100,000	-	(16,223)	(16,223)
						<u>¥ 273,568</u>	<u>¥ (56,058,304) ¥</u>	<u>(55,784,736)</u>

デリバティブの額

The following table is a summary of the Fund's derivative positions inclusive of potential netting arrangements. For additional information on derivative instruments, please refer to the Derivative Instruments section in Note 2 and the Risk Factors section in Note 4 of the accompanying Notes to Financial Statements.

	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	受取担保額	差入担保額	純額
店頭デリバティブ						
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co.	¥ 273,568	¥ (58,058,304)	¥ -	¥ -	(55,784,736)
清算集中されるデリバティブ						
先物取引	Goldman, Sachs and Co.	32,578,634	(4,015,702)	-	-	28,562,932
		¥ 32,852,202	¥ (60,074,006)	¥ -	¥ -	(27,221,804)

*Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

EUR	-	Euro
GBP	-	Great British Pound
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

運用報告書（全体版）

第11期（決算日 2015年1月14日）

（計算期間：2014年7月15日～2015年1月14日）

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主な投資対象	わが国の公社債
主な投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
URL <http://www.kokusai-am.co.jp>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債券組入率	債券先物率	純資産額
		期騰	中率			
7期 (2013年1月15日)	円 10,034	% 0.0	% 89.3	% —	百万円 896	
8期 (2013年7月16日)	10,039	0.0	91.6	—	1,854	
9期 (2014年1月14日)	10,042	0.0	90.4	—	1,437	
10期 (2014年7月14日)	10,045	0.0	93.4	—	1,284	
11期 (2015年1月14日)	10,047	0.0	84.8	—	1,179	

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当期の基準価額等の推移

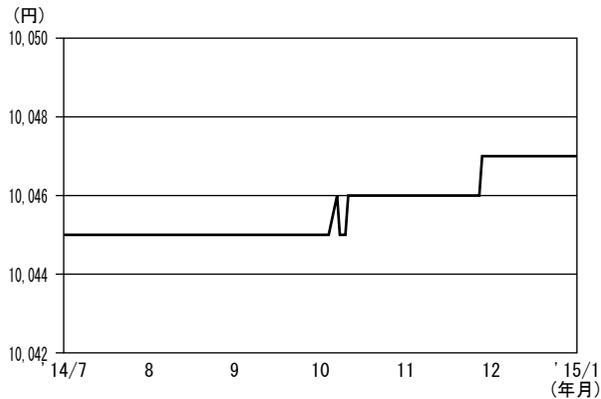
年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期首) 2014年 7月14日	円 10,045	% —	% 93.4	% —	
7月末	10,045	0.0	87.0	—	
8月末	10,045	0.0	94.4	—	
9月末	10,045	0.0	94.5	—	
10月末	10,046	0.0	83.4	—	
11月末	10,046	0.0	99.2	—	
12月末	10,047	0.0	92.5	—	
(期末) 2015年 1月14日	10,047	0.0	84.8	—	

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額等の推移について (作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日)



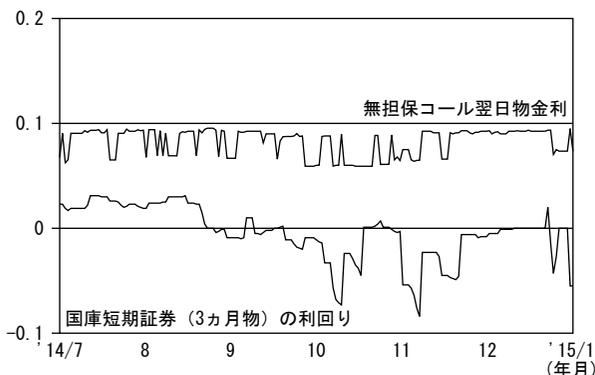
当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス0.0%となりました。

■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日)

日銀による金融緩和政策の影響から、短期金利は低位で推移しました。これらを受けて、基準価額は10,045円から10,047円の間で推移しました。

投資環境について（作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日）

> 国内短期金融市場の動向



〈無担保コール翌日物金利の推移〉
日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

〈国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移〉
2014年8月まで低位で推移していた国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、9月以降日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、マイナスとなりました。10月末の日銀による追加の金融緩和政策を受けて、日銀の短期国債の買入れが減少するとの見通しなどから、11月初旬にかけて同利回りは0%程度まで上昇しました。その後も、一時的に同利回りは0%程度まで上昇する場面がはあったものの、おむねマイナスで推移しました。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日）

わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンでの運用を行います。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期に発生した費用はありません。

■ 当期の売買及び取引の状況（2014年7月15日から2015年1月14日まで）

公社債

国		買付額	売付額
内 証 券		千円	千円
	国債	362,921,039	363,121,089

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当期の主要な売買銘柄（2014年7月15日から2015年1月14日まで）

国内の現先取引のみであるため記載がありません。

■ 当期の利害関係人[※]との取引状況等（2014年7月15日から2015年1月14日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
現 先 取 引 (公社債)	362,921	—	—	363,121	—	—

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

[※]利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産の明細

① 国内（邦貨建）公社債

区 分	決 算 期		当 期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	1,000,000 (1,000,000)	1,000,095 (1,000,095)	84.8 (84.8)	— (—)	— (—)	— (—)	84.8 (84.8)
合 計	1,000,000 (1,000,000)	1,000,095 (1,000,095)	84.8 (84.8)	— (—)	— (—)	— (—)	84.8 (84.8)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

② 国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	決 算 期		当 期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
第491回国庫短期証券※	—	140,000	140,009	—	
第503回国庫短期証券※	—	860,000	860,086	—	
合 計	—	1,000,000	1,000,095		

(注1) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注2) ※印は現先で保有している債券です。

■ 投資信託財産の構成

2015年1月14日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千円 1,000,095	% 84.6	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	182,017	15.4	
投 資 信 託 財 産 総 額	1,182,112	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年1月14日) 現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	1,182,112,098
コール・ローン等	182,016,731
公 社 債(評価額)	1,000,095,100
未 収 利 息	267
(B) 負 債	2,125,332
未 払 解 約 金	2,125,332
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,179,986,766
元 本	1,174,422,749
次 期 繰 越 損 益 金	5,564,017
(D) 受 益 権 総 口 数	1,174,422,749口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,047円

■ 損益の状況

当期 (自2014年7月15日 至2015年1月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	345,884
受 取 利 息	345,884
(B) 当 期 損 益 金(A)	345,884
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,705,383
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	102,286,802
(E) 解 約 差 損 益 金	△102,774,052
(F) 計 (B+C+D+E)	5,564,017
次 期 繰 越 損 益 金(F)	5,564,017

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (D) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・ (E) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当マザーファンドの期首元本額は1,278,766,161円、期中追加設定元本額は22,249,585,285円、期中一部解約元本額は22,353,928,697円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末10,047円です。

(注4) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は以下の通りです。

ファン ド 名	当 期 末 元 本 額
	円
世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2013-12	99,582
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-02	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-03	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-04	99,562
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09	99,553
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-09	99,553
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-12	99,533
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533
新興国公社債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	3,324,093
新興国公社債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	200,000
新興国公社債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	1,904,380
新興国公社債オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	93,548
新興国公社債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	21,243,807
新興国公社債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,989
新興国公社債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンド (年2回決算型)	8,038,528
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	5,154,901
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	49,966
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	995,161
世界投資適格債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	2,234,005
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	28,349
世界投資適格債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	1,013,875
世界投資適格債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドII (年2回決算型)	8,433,492
日本株 2.5フルペア・オープンII (マナー・プール・ファンド)Ⅲ	529,553,178
マナー・プール・ファンドIV	17,501,066
マナー・プール・ファンドVI	326,365,828
マナー・プール・ファンドVII (適格機関投資家専用)	976,834
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	15,855,020
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨/バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	85,774,045
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561
トレンド・アロケーション・オープン	997,308
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997

ファン ド 名	当 期 末 元 本 額
	円
リスク・パリティαオープン	995
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジあり	9,963
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	39,849
米国エネルギー-MLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215
米国エネルギー-MLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (年2回決算型)	93,171,536
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	38,334,180
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956
米国成長株オープン	996
合 計	1,174,422,749

國際投信投資顧問